

# NRIだより

株主の皆様へ	1
数字で見るNRI	2
セグメント別およびサービス別の概況	3
連結財務諸表	4
トピックス	5
会社データ	8

野村総合研究所  
Nomura Research Institute

2013年 Vol.2

## 株主の皆様へ

To Our Shareholders



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2013年3月期の国内景気は、後半から円高修正・株価上昇が進んだことから持ち直しの動きが見られ、企業の情報システムへの投資意欲にも一部に回復が見られました。このような環境の中、NRIグループは中長期的な成長を実現するため、強みをさらに伸ばしつつ新しい分野での成長施策を推し進めました。

金融関連分野では、野村証券株式会社のバックオフィスシステムとしてNRIの共同利用型システムの提供が始まりました。また、インターネットバンキングが重要な顧客チャネルとなりつつある銀行分野において、共同利用型システムの提供が拡大しました。さらに、金融商品の提案型営業業務を支援する新たなサービスの提供にも取り組みました。

産業関連分野では、コンサルティング部門とITソリューション部門が共同で顧客への提案をおこなう取り組みを進めています。その成果のひとつとして、2013年3月期から味の素株式会社向けのITサービスの提供が新たに加わりました。

海外展開については、グローバルでの事業強化に向け、アジアを中心に拠点の整備・拡大を進めました。インドのIT企業の子会社化、タイ現地法人の設立、インドネシア拠点の設置、台北支店・ソウル支店の現地法人化をおこない、また、ルクセンブルクに拠点を設置しました。人材面においては海外研修制度を大幅に拡充し、グローバルビジネスに対応する人材の育成を進めています。

その結果、2013年3月期の売上高は363,891百万円(前期比8.4%増)、営業利益は44,013百万円(同2.0%増)と、2期連続の増収増益となりました。

2014年3月期は、情報システムの「所有から利用へ」の流れを追い風に、制度改正や情報システムの老朽化などを背景に高まる情報システムへの投資需要をとらえ、3期連続の増収増益を目指します。そして、中長期的な成長軌道を実確なものにできるよう、全社をあげて注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2013年6月  
代表取締役社長

嶋本 正

2014年3月期業績予想について (2013年4月25日発表)

(単位:億円)

	2013年3月期実績	2014年3月期予想
売上高	3,638	3,700
営業利益	440	470
経常利益	458	485
当期純利益	286	300
1株当たり年間配当金	52円	52円

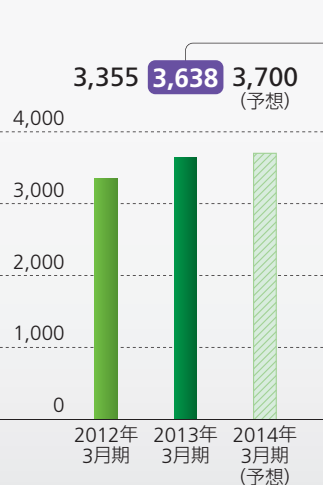
# 数字で見るNRI

2013年3月期 (2012年4月1日~2013年3月31日)

NRI at a Glance

## 売上高

(単位：億円)

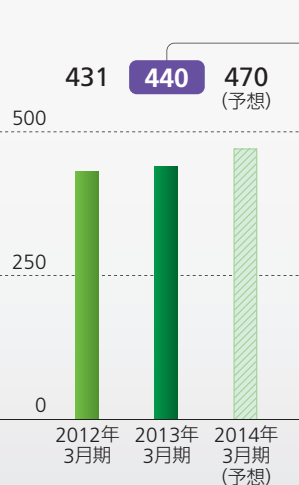


**3,638億円**  
前期比 +8.4%

売上高は、野村証券株式会社へのSTAR-IV導入プロジェクトが寄与した証券業向けや、味の素株式会社向けサービスが新しく加わった製造・サービス業等向けを中心に増加し、前期比8.4%の増収となりました。

## 営業利益

(単位：億円)

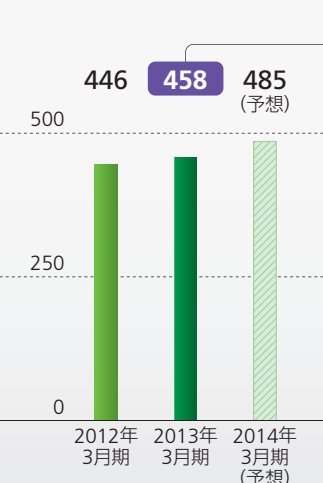


**440億円**  
前期比 +2.0%

売上高の増加を受け営業利益も増益となる一方で、保険業向けプロジェクトにおける追加コストや産業分野の新規顧客獲得にともなうコストの増加により、営業利益は前期比2.0%の増益となりました。

## 経常利益

(単位：億円)

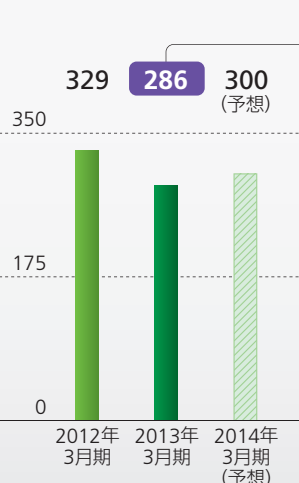


**458億円**  
前期比 +2.6%

営業増益に加え、営業外損益が持分法投資利益などにより増益となり、経常利益は前期比2.6%の増益となりました。

## 当期純利益

(単位：億円)

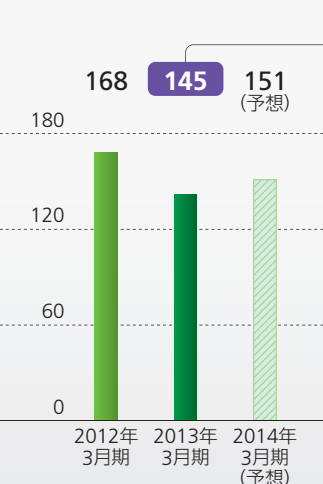


**286億円**  
前期比 △13.1%

2012年3月期の関係会社株式売却益85億円および特別配当金30億円の反動により、当期純利益は前期比13.1%の減益となりました。

## 1株当たり当期純利益

(単位：円)

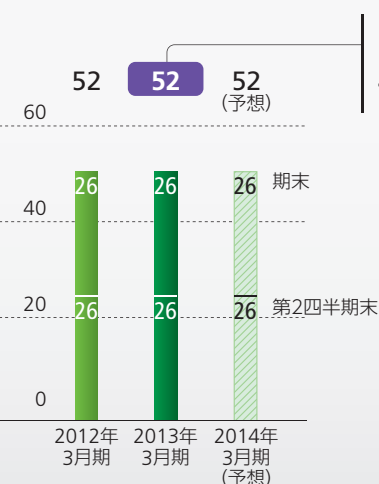


**145円**  
前期比 △23円

前期と比べ23円減少し、145円となりました。

## 1株当たり配当金

(単位：円)



**52円**  
前期比 ±0円

(注) 1. 記載金額は、億円未満 (1株当たり当期純利益・配当金は円未満) を切捨てて表示しております。

2. 2014年3月期通期予想は、2013年4月25日に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

# セグメント別およびサービス別の概況

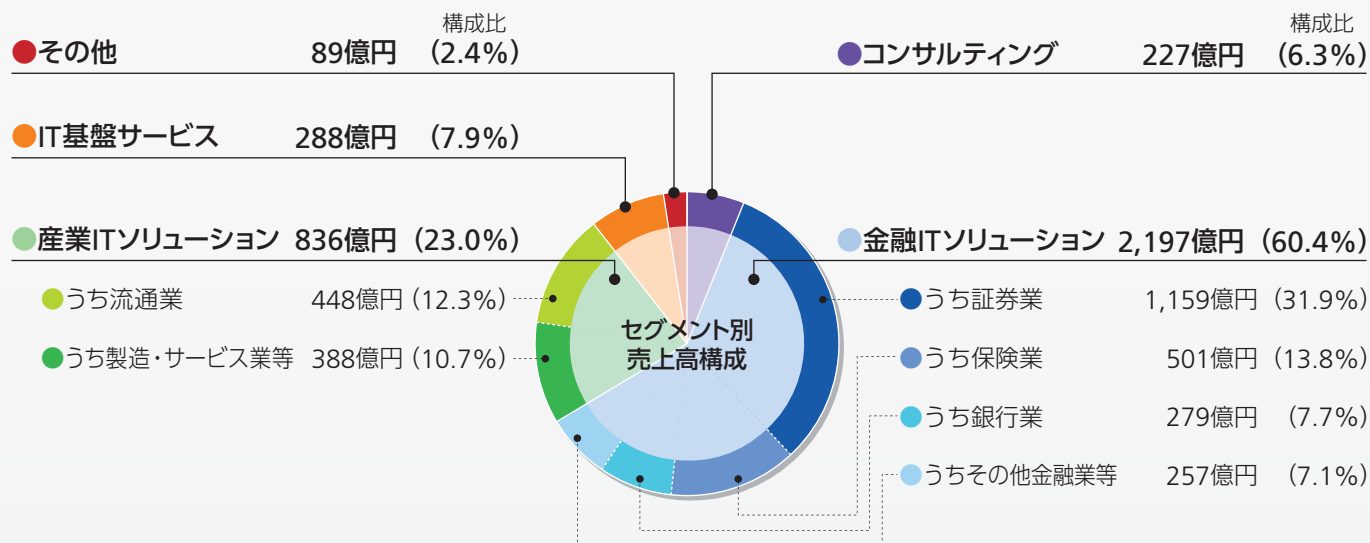
Summary by Segment and Service

2013年 Vol.2

2013年3月期 決算のご報告

## セグメント別売上高

(単位：億円、%)



コンサルティングセグメントの構成比は6.3%です。公共向けコンサルティングや、顧客のシステムプロジェクトの実行を支援するシステムコンサルティングが増加しました。

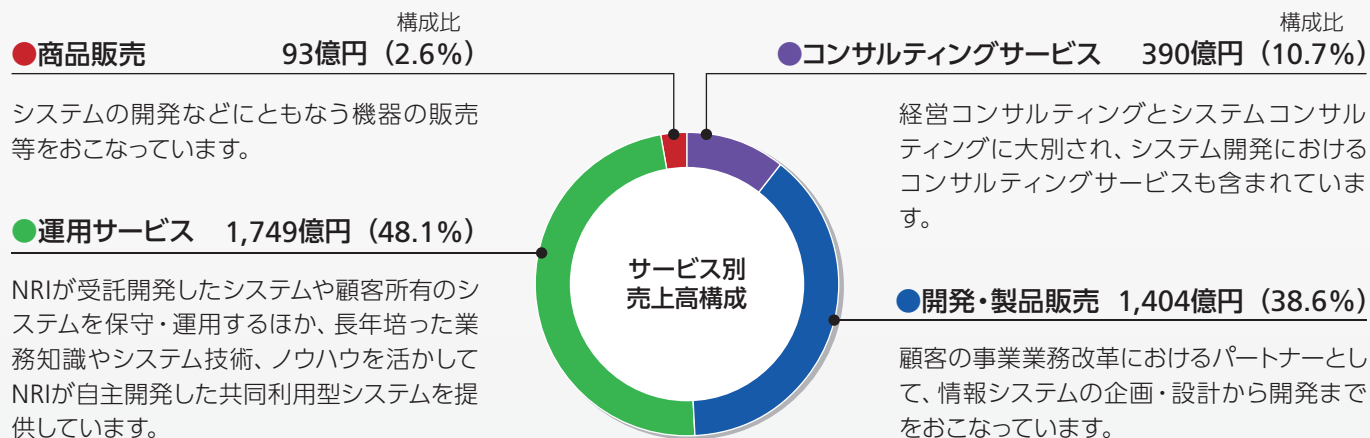
金融ITソリューションセグメントの構成比は60.4%です。保険業向け開発・製品販売が減少したものの、証券業向けを中心に、銀行業、その他金融業等向けの開発・製品販売が増加しました。

産業ITソリューションセグメントの構成比は23.0%です。2013年3月期からNRIグループに加わった子会社の寄与もあり、製造・サービス業等向けの運用サービスや開発・製品販売を中心に増加しました。

IT基盤サービスセグメントの構成比は7.9%です。証券業向けの商品販売が減少しました。

## サービス別売上高

(単位：億円、%)



システムの開発などにもともなう機器の販売等をおこなっています。

NRIが受託開発したシステムや顧客所有のシステムを保守・運用するほか、長年培った業務知識やシステム技術、ノウハウを活かしてNRIが自主開発した共同利用型システムを提供しています。

コンサルティングサービスの構成比は10.7%です。公共向けコンサルティングや顧客のシステムプロジェクトの実行を支援するシステムコンサルティング、金融ITソリューションでのシステムコンサルティングが増加しました。

開発・製品販売サービスの構成比は38.6%です。証券業向けを中心に、銀行業、その他金融業等向けが増加したほか、2013年3月期からNRIグループに加わった子会社の寄与など

経営コンサルティングとシステムコンサルティングに大別され、システム開発におけるコンサルティングサービスも含まれています。

顧客の事業業務改革におけるパートナーとして、情報システムの企画・設計から開発までをおこなっています。

により増加しました。

運用サービスの構成比は48.1%です。証券業向けや銀行業向けの共同利用型システムサービスで増加したほか、2013年3月期からNRIグループに加わった子会社の寄与などにより産業分野向けでも増加しました。

商品販売サービスの構成比は2.6%です。システム開発にともなう機器販売が減少しました。

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2012年3月期 (2012年3月31日現在)	2013年3月期 (2013年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	176,804	189,233
固定資産	225,980	243,016
有形固定資産	67,569	63,456
無形固定資産	57,861	42,854
投資その他の資産	100,549	136,705
<b>資産合計</b>	<b>402,784</b>	<b>432,249</b>
(負債の部)		
流動負債	69,380	118,190
固定負債	75,126	23,196
<b>負債合計</b>	<b>144,507</b>	<b>141,386</b>
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	18,600	18,600
資本剰余金	14,800	14,800
利益剰余金	286,907	305,058
自己株式	△68,841	△65,380
株主資本合計	251,466	273,077
その他の包括利益累計額		
その他有価証券 評価差額金	7,966	17,937
為替換算調整勘定	△2,575	△1,640
その他の包括利益累計額合計	5,390	16,296
新株予約権	1,420	1,410
少数株主持分	—	78
<b>純資産合計</b>	<b>258,276</b>	<b>290,862</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>402,784</b>	<b>432,249</b>

## 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	2012年3月期 (自2011年4月 1日 至2012年3月31日)	2013年3月期 (自2012年4月 1日 至2013年3月31日)	増減額
売上高	335,554	363,891	+28,336
売上原価	235,515	262,315	+26,799
売上総利益	100,038	101,575	+1,536
販売費及び 一般管理費	56,886	57,561	+675
営業利益	43,152	44,013	+860
営業外損益	1,533	1,841	+307
経常利益	44,686	45,854	+1,168
特別損益	11,518	△2,988	△14,506
税金等調整前 当期純利益	56,204	42,866	△13,337
法人税等	23,283	14,260	△9,023
当期純利益	32,920	28,610	△4,310

## 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2012年3月期 (自2011年4月 1日 至2012年3月31日)	2013年3月期 (自2012年4月 1日 至2013年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	53,067	68,364	+15,297
投資活動による キャッシュ・フロー	△47,731	△36,019	+11,712
財務活動による キャッシュ・フロー	△10,438	△10,487	△48
現金及び現金同等物 に係る換算差額	62	721	+659
現金及び現金同等物 の増減額(減少:△)	△5,041	22,579	+27,620
現金及び現金同等物 の期首残高	82,085	77,043	△5,041
現金及び現金同等物 の期末残高	77,043	99,623	+22,579

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 証券バックオフィスシステムの共同利用型サービス「STAR-IV」を野村証券に提供

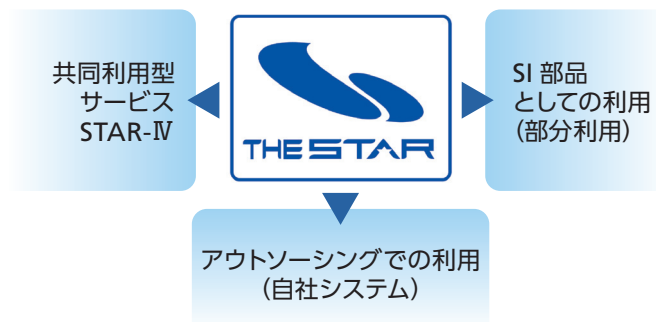
(2013年1月10日)

NRIは、野村証券株式会社(以下「野村証券」)に対し、証券バックオフィスシステムの共同利用型サービス「STAR-IV」の提供を2013年1月より開始しました。

「STAR-IV」は、証券会社において、勘定系といわれる機能を持つ証券総合バックオフィスシステムです。店頭での対面による取引のほか、カスタマーセンターへの電話による注文、PC・タブレット端末等からのインターネット取引などを提供し、多様な取引形態に対応しています。

また、BCP(事業継続計画)関連サービスとして、短期の被災に備えて遠隔地のデータセンターにあるバックアップデータを参照するサービスなど、継続的な業務遂行に必要な機能を装備しています。

NRIは、今後も「STAR-IV」の提供を通じて、証券会社の業務効率化やサービス向上に貢献していきます。



THE STARは、共同利用型サービス「STAR-IV」、オーダーメイド型の「アウトソーシング形式」、自社システムに組み込む「SI部品」としてなど、さまざまな形で利用できます。

## 野村証券に「NRIアドバイザープラットフォーム」を提供開始

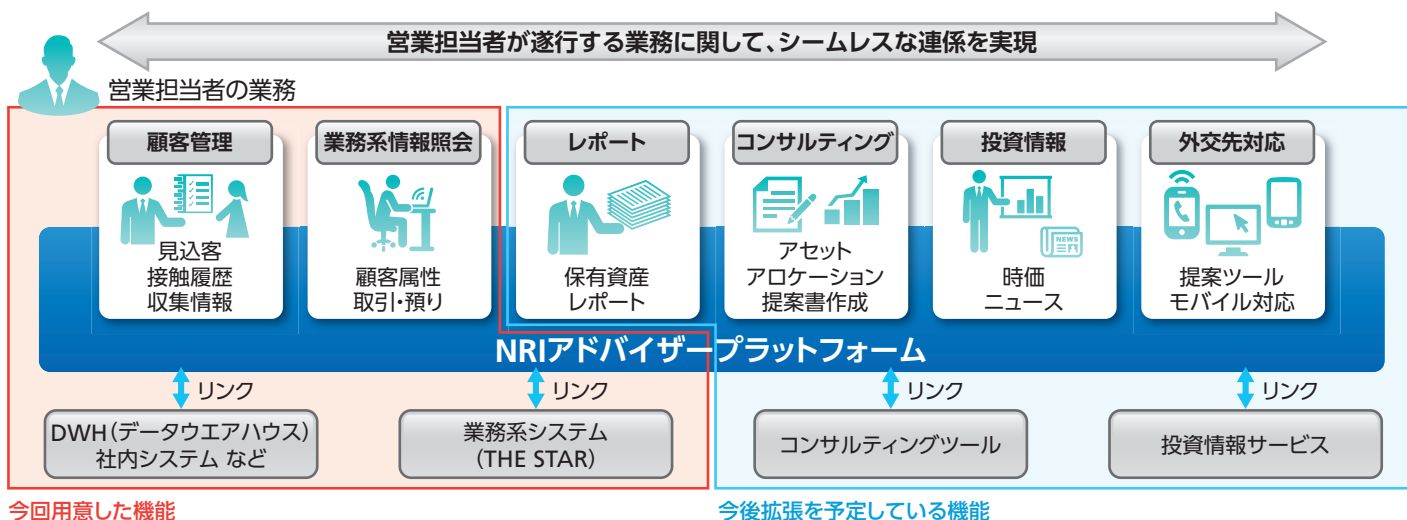
～提案型の営業業務を支援する金融機関向けソリューション～ (2013年2月7日)

NRIは、野村証券に対し、顧客の資産運用相談業務や各種金融商品の提案型営業業務を支援する共同利用型サービス「NRIアドバイザープラットフォーム」(以下「APF」)の提供を2013年1月より開始しました。

APFは、多様化・複雑化する金融商品販売の現場において、顧客志向の提案型・資産管理型の営業を実現するうえで、特に力を発揮します。例えば、顧客情報

を、営業担当者、または顧客単位に集約して活用できるよう工夫しています。今後、顧客保有資産についての分析レポート作成や、タブレット端末への対応などのオプション機能を、整備・追加していく予定です。

NRIは、今後も金融機関が顧客への提案に用いるコンテンツの作成からバックオフィスシステムまでを一貫してサポートし、正確かつスピーディーなワンストップサービスの実現を目指していきます。



今回用意した機能

今後拡張を予定している機能

## 自賠責保険の業務を総合的にサポートする「ins-CALI」サービスの提供を開始

～朝日火災海上保険およびセコム損害保険が採用～ (2013年3月13日)

NRIは、保険会社の自動車損害賠償責任保険(以下「自賠責保険」)業務をサポートする共同利用型サービス「ins-CALI(インスカリ)」の提供を開始しました。

朝日火災海上保険株式会社およびセコム損害保険株式会社が採用、それぞれ「ins-CALI」の利用を開始しています。

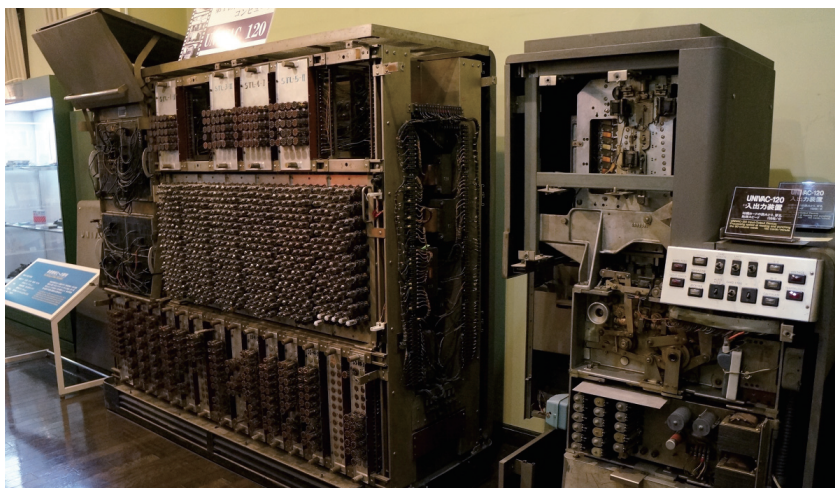
「ins-CALI」は、満期・継続管理、事故支払いなど一

連の事務処理を総合的、包括的に支援します。頻繁に改定される保険料率や規制緩和など、各種の制度変更にも確実に対応します。

NRIは、今回提供を開始した「ins-CALI」や、従来より提供している自賠責保険共同代理店システム「e-JIBAI(イージバイ)」などを通じて、今後も自賠責保険業務の効率化とサービス品質の向上を支援します。

## 国内初の商用コンピュータ「UNIVAC120」を東京理科大学近代科学資料館に寄贈

(2013年2月28日)



▲東京理科大学近代科学資料館の中央に展示される「UNIVAC120」



▲野村証券に搬入される「UNIVAC120」(1955年)  
写真提供: 日本ユニシス株式会社

NRIは、国内で導入された初の商用コンピュータ「UNIVAC120」を2013年2月27日、東京理科大学近代科学資料館に寄贈しました。

野村証券は、1954年にアメリカのレミントン・ランド社(現ユニシス社)が「UNIVAC120」を発表すると同時に、業界の先陣を切って購入の決定を下しました。翌年初めに日本橋の野村証券本社ビルに導入され、8年間、野村証券計算部で活用され、同社の事務

近代化に多大な貢献を果たしました。

その後、株式会社野村電子計算センター(後の野村コンピュータシステム株式会社)を経て、現在までNRIが保管していました。同機は、日本におけるコンピュータ活用と情報サービス産業の歴史の幕開けを象徴する展示物として、「日本一の計算機コレクションを誇る」東京理科大学近代科学資料館で一般に公開されています。

## NRIのグローバル展開に向けた取り組み



### タイ現地法人を設立

～東南アジアにおけるサービス体制を強化～ (2013年2月15日)

NRIは、グループ会社であるノムラ・リサーチ・インスティテュート・アジア・パシフィック(以下「NRI APAC」)を通じて、タイ王国(以下「タイ」)に2013年1月24日、株式会社野村総合研究所タイ(以下「NRIタイ」)を設立しました。

NRIタイは、自動車産業を中心とする製造業やサービス業の集積が進むタイにおいて、日系企業および他のグローバル企業に対し、コンサルティングおよびシステムソリューションサービスを提供します。また、ミャンマーなどメコン川流域諸国への関心の高まりを踏まえ、これら諸国に関する投資環境調査や、現地パートナーとの合併事業推進などのコンサルティングを通じて、顧客企業の東南アジアにおける事業拡大を支援します。



### NRIヨーロッパがルクセンブルクに支店を設置

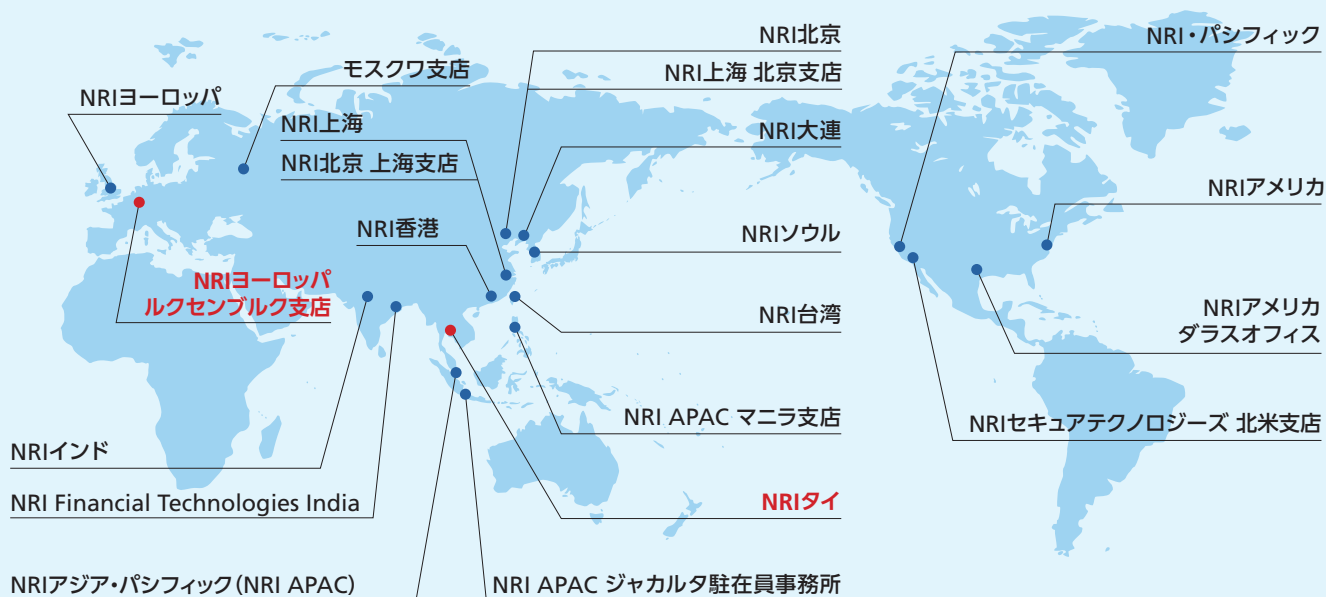
～欧州におけるサービス体制を強化～ (2013年3月19日)

NRIのグループ会社であるノムラ・リサーチ・インスティテュート・ヨーロッパ(以下「NRIヨーロッパ」)は、2013年2月21日、ルクセンブルク大公国(以下「ルクセンブルク」)にNRIヨーロッパルクセンブルク支店を設置しました。

ルクセンブルクは欧州の金融センターとしての地位を確立しており、近年はICT(情報通信技術)、電子商取引、および医療技術や環境技術などを活用した新しい産業の支援にも力を入れ、多くの日系企業が同国に進出しています。NRIヨーロッパルクセンブルク支店は、現地で活動する日系企業および他のグローバル企業に対し、システムソリューションサービスを提供します。金融機関をはじめとする顧客企業のニーズに迅速に対応し、各社の欧州地域における事業展開を支援します。

**NRIは、今後もグローバル展開に向けた取り組みを、積極的に実施していきます。**

### NRIのグローバル拠点



(2013年3月31日現在)

## 会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年 4月 株式会社野村総合研究所 (NRI) 設立 1966年 1月 株式会社野村電子計算センター (NCC) 設立 1988年 1月 両社が合併 2001年12月 東京証券取引所一部に株式を上場
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 嶋本 正
従業員数	5,823名/NRIグループ7,738名 (2013年3月31日現在)

## 株主メモ

- 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（当社ホームページ <a href="http://www.nri.co.jp/">http://www.nri.co.jp/</a> ） ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（連絡先・照会先）	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711（通話料無料）